

★ やよい図書館 ★

いつもやよい図書館をご利用いただきましてありがとうございます。
 ようやく涼しくなりホッとしているこのごろ、運動会などの行事や行楽、おいしい秋の味とともに楽しみがたくさんありますね。日暮れもずいぶん早くなり少し寂しい気持ちもあるのですが、いよいよ読書の秋到来です。夜更かしはあまりおすすめできませんが、少しの時間落ちついて本を読むのもよいものです。干したてのおふとんにお子さんと寄りかかりながら、シチューを煮込む間に…などなどお好きなスタイルで秋の読書をぜひ楽しんでいただきたいと思います。特別整理期間の休館（10月2日～7日）でご不便をおかけしますが、今月も楽しい特集を組んで皆さまをお待ちしております。

【休館期間（特別整理）10月2日(火)～7日(日)】

さて、「描こう！これまでの足立、これからの足立」子どもの部の絵と俳句を展示しておりましたが、お好きな作品に投票していただけたでしょうか。どれも子どもたちの気持ちが伝わってくる力作です。投票は終了しますが10月いっぱい展示する予定ですのでぜひゆっくりご覧いただけたらと思います。また11月からは大人の部として、俳句と写真を募集します。元気いっぱい子どもたちに倣ってどうぞご応募ください。

くせい しょうねんきおんじごう
区制80周年記念事業



えが あだち あだち 「描こう！これまでの足立、これからの足立」

子どもの部の応募作品（絵：100点・俳句：111句）に
 たくさんの投票をありがとうございました！

みなさんの投票を集計し、10月中旬ごろ人気NO.1や区長賞を決定します！
 表彰式は11月11日(日)のふれあいまつりで行います。どうぞお楽しみに！

新コーナーの紹介

『名著複刻 日本児童文学館 第一集』 ほるぷ出版

児童文学の黎明期（明治・大正・昭和の三代にわたって）に刊行された名作の復刻版が揃っています。ノスタルジックな装丁をお楽しみください。

和綴じ、箱付など
 他にも色々な本が
 あります。



【図書館入口そば】



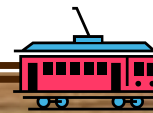
一般特集

原作小説

ようやく涼しくなってきました。
 この秋は、過去に映像化された小説を読んでみませんか？あの時、読み逃してしまった小説が見つかるかもしれません。



読書の窓



10月に読みたい本

鉄道に親しめる本

みなさん、10月14日は何の日かご存知ですか？10月と言えば「体育の日」ですが、14日は「鉄道の日」に制定されています。さらに5日は初めて時刻表が使用された日として、「時刻表の日」とされています。みなさんも普段から通学や通勤で何気なく乗っていると思われそうですが、10月に鉄道に関する日が2つもあることを知っている人は少ないのではないでしょうか。秋の夜長の読書で、鉄道に詳しくなってみませんか？

『オリエント急行殺人事件』

アガサ・クリスティ／著 講談社

「ミステリーの女王」と名高いクリスティの作品の中でも最も有名なもののひとつ、「オリエント急行殺人事件」。ミステリーに興味がなくとも名前は知っているという人は多いのではないのでしょうか。

このミステリー小説と「オリエント急行」のビジュアルブックと一緒に読んで、あなたもオリエント急行の乗客の気分を味わってみませんか？

『オリエント急行』

窪田太郎・妹尾河童・保柳健 他／著 新潮社

ページいっぱいに写真が使われたオリエント急行のビジュアルブックです。オリエント急行を舞台にした作品は数多く存在しますが、上記で紹介した「オリエント急行殺人事件」もその一つです。本書と「オリエント急行殺人事件」を合わせてお読みにになり、かつての豪華列車に思いを馳せてください。

『ニッポン駅弁大全』

小林しのぶ／著 文藝春秋

列車の旅と言えば駅弁が付きものです。この本は、駅弁が534種も掲載されている日本初の駅弁大百科です。弁当の紹介以外にもコラムもあり、読み物としても読み応え抜群！巻末には47都道府県おすすめ駅弁リストや、弁当別・駅名別索引がついていて利便性も十分です。ぜひ、旅行・出張のおともにお読みください。

『旅してみたい日本の鉄道遺産』

三宅俊彦／著 山川出版社

産業遺産に高い関心が寄せられている昨今。100カ所以上の鉄道遺産を実際に訪ね歩いたという著者が、日本中のとっておきの遺産・遺跡を選びすぐ紹介しています。現在も身近にあって見られるものの他、森の中でひっそりとたたずんでいるような遺産もあります。在りし日の姿を伝える写真や図面も掲載されており、遠い昔の活気が偲べれます。鉄道の歴史を辿る旅へ、いざなってくれる一冊です。

『昭和電車少年』

実相寺昭雄／著 JTB

電車オタクを自負するアナタ！今月の読書の窓の中で、まず読むべきはこの本ではないでしょうか。

「ウルトラマン」などの番組を手がけ、映画監督、作家としても活躍した昭和12年生まれの著者。亡くなる数年前に出版された本書は、表現力豊かな文章で、若者たちの知らない昔の鉄道事情や当時の様子なども語っています。鉄道ファンの気持ちが理解できないという方も、ぜひ一度本書を読んでみてください。

『ダイヤに輝く鉄おとめ』

矢野直美／著 JTBパブリッシング

長らく男性社会と言われてきた鉄道業界で奮闘する女性たちのインタビュー集です。夢に向かって真っすぐ笑顔で頑張る女性たちから元気がもらえる一冊です。鉄道ファンでなくとも楽しめるのではないのでしょうか。また、鉄道各社の様々な制服や車両も写真で楽しむことができます。ちなみに表紙に載っている和歌山電鐵（でんてつ）スーパー駅長、猫のたまですが、れっきとした女性、鉄おとめです。